

# 企業におけるSDGs推進



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

静岡市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2021年6月作成

1 SDGsとは

2 企業とSDGs

①CSRとSDGs

②商品・サービスから見つめ直す

③既存の取組とSDGsを紐づける

④SDGsの見える化を図る

⑤段階を踏んでSDGsに取り組む

3 最後に

# 1 SDGsとは

皆さん、SDGsという言葉聞いたことがありますか？

このロゴ？アイコン？マーク？見たことありますか？

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



最近、このバッジをつけている人を見かけたことはありませんか？

# 1 SDGsとは

サステナブル      デベロップメント      ゴールズ

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の頭文字と最後のsを取ったもので、**エス・ディー・ジーズ**と読みます。

2015年9月、ニューヨーク国連本部で開催された国連サミットで、国際社会が抱える課題を2030年までに解決するために、**全ての国連加盟193カ国が一致して採択した17の目標(ゴール)**のことです。

「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、SDGsでは、ジェンダー平等、気候変動、海洋汚染等の世界的課題について、今を生きる私たちだけでなく、子、孫といった、**その次の世代も住み続けられる地球のことを考えた取組**が求められています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 1 SDGsとは

17の目標には、より具体的な目標を示した169のターゲットと232の指標が設定されています。例えば、目標3とターゲットについて見てみましょう。



目標 3	すべての人に健康と福祉を
ターゲット 3.3	2030年までに、エイズ、結核、マalaria及び 顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及び <b>その他の感染症に対処する</b>

今、世界的な危機となっている**新型コロナウイルス感染症**に対処するため、世界で行なわれている

○ 製薬会社によるワクチン・治療薬の開発

○ 自治体・医療機関によるワクチン接種

○ 医療機関による感染者の治療は、

まさにSDGsの達成のために、必要な取組であるといえます。

目標達成のためには、**具体的なターゲットと達成目安となる指標を意識した取組を行うことが必要**になります。



## 2 企業とSDGs

うちの企業は  
何もできないなあ

そもそも何から始めてよ  
いかわからないなあ



取り組んだところで  
売り上げに影響ないなあ

大手企業だけが  
取り組めばいいのでは？

SDGsに取り組まなければならないことはなんとなく理解できても、こんな風に思う方も多いのではないのでしょうか。

しかし、企業の規模に関わらず、SDGsの取り組みは広がっています。では、なぜSDGsに取り組む企業が増えているのでしょうか。

それは、「**企業としての価値を高め、社員と企業が共に成長し、持続可能な企業であり続けるため**」です。もっとわかりやすい言葉にすると、『**SDGsに取り組むことは、ビジネスチャンスに繋がるため**』です。

## 2 企業とSDGs ①CSRとSDGs

では、これまで多くの企業が取り組んできた「CSR」と「SDGs」の違いについて考えてみましょう。

	CSR（企業の社会的責任）	SDGs（持続可能な開発目標）
目的	企業が株主、取引先、消費者、従業員から信頼を得るための「 <b>慈善活動</b> 」	持続可能な社会を実現するために取り組む「 <b>企業活動</b> 」
内容	<b>ボランティア（無報酬）</b> による社会貢献	<b>ビジネス（収益化）</b> による社会貢献
事例	社員一同で参加する地域の森林整備活動	森林整備活動の中で生じた間伐材を利用した木材製品の開発・販売

「CSR」と「SDGs」のどちらも、持続的な企業の成長につながるものであり、社会・世界の持続性に貢献するものです。しかし、2つの大きな違いは「ビジネス」です。

慈善活動だけでは収益に結びつかず、活動を頑張れば頑張るほど経営に影響をもたらす可能性があります。一方で、ビジネスを用いて社会貢献に取り組むことで、『収益』と『他者からの信頼』を同時に得ることが可能になります。

SDGsに取り組むことは、「CSR」+「ビジネス」となり、結果として持続可能な企業経営につながることとなります。

## 2 企業とSDGs ②商品・サービスから見つめ直す



次に、皆さんの生活にある身近な製品から、ビジネスとSDGsについて考えてみましょう。

「ストロー」は、これまで主に「プラスチック」で作られてきました。軽くて持ち運びに便利、丈夫で壊れにくく、生産コストが低いことから、一般的に流通しました。

しかし、その一部はポイ捨てされ、海洋動物がエサと間違えて食べてしまったり、漂着したプラスチックごみが自然分解できず、環境汚染問題が広く知られるようになりました。

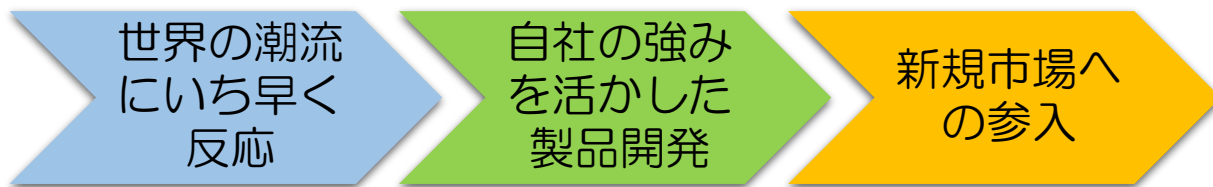
また、以前は廃プラスチックの処分の一部が国外へ輸出(他国で処理)されていましたが、世界最大の輸入国であった中国が2018年に輸入禁止をするなど、プラスチックの処分方法の問題も浮き彫りになりました。

すると、大手コーヒーチェーン店が「**プラスチックストローの廃止、紙ストローへの切替**」を表明したことで、一気に**プラスチックストローからの切替の動き**が加速しました。



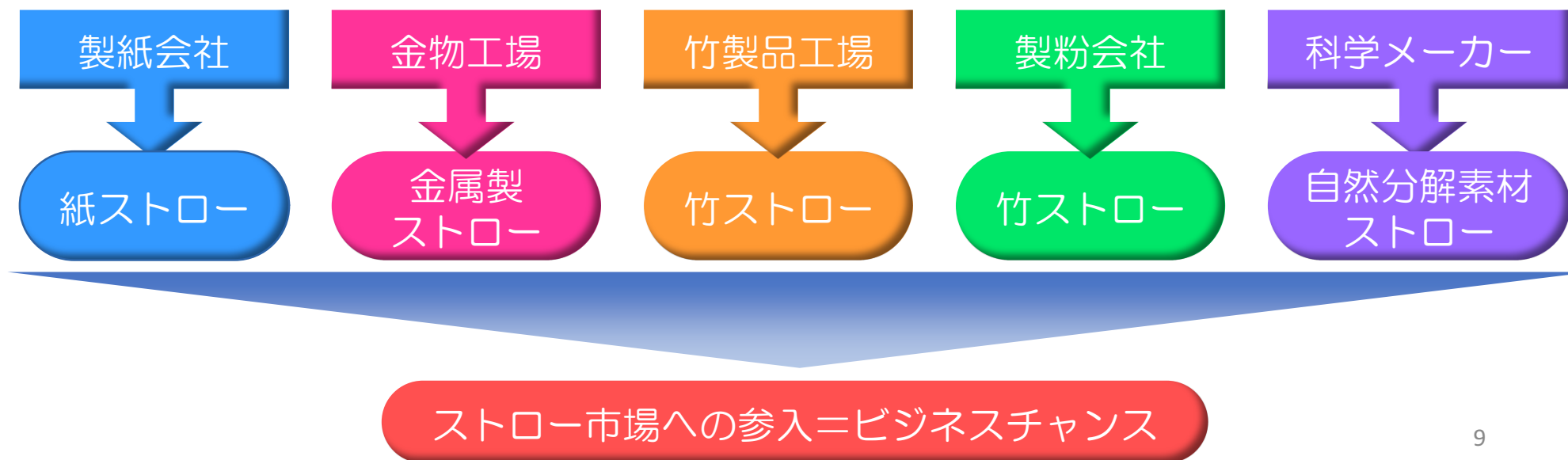
## 2 企業とSDGs ②商品・サービスから見つめ直す

実は、この動きが、SDGs推進におけるビジネスチャンスの1つとなっています。



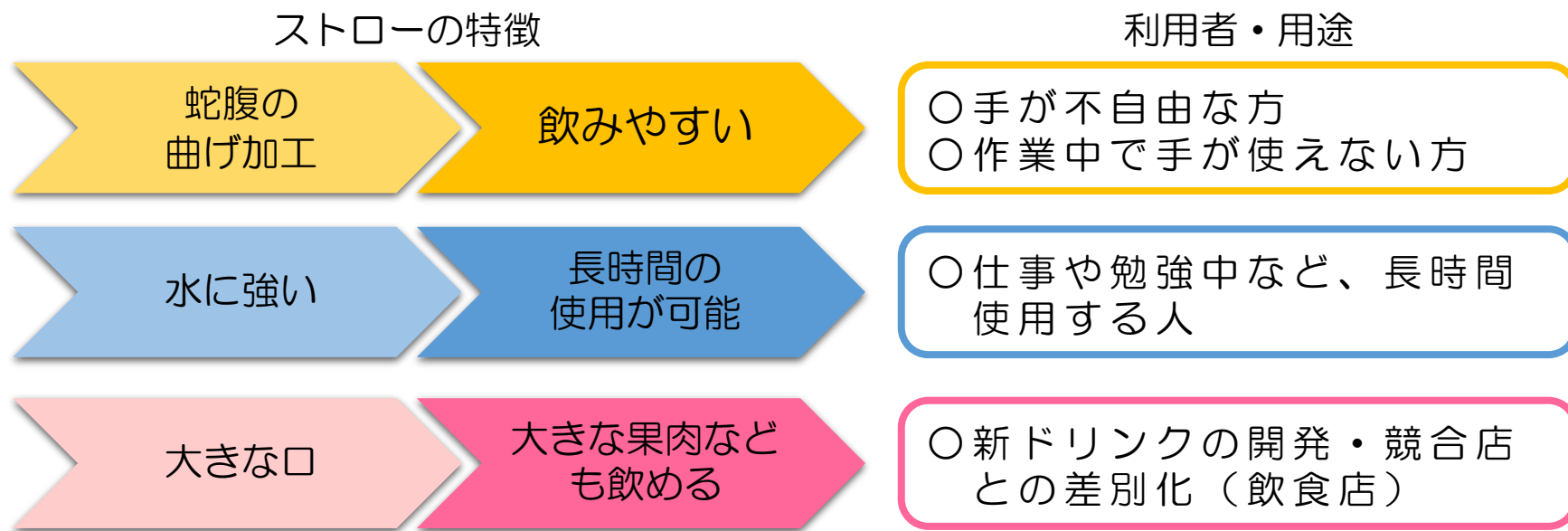
- 他社との差別化
- 環境・社会問題に取り組む企業としての企業価値の向上
- 取引先の増加・売上の増加
- 経営リスク回避

そして、この世界の潮流にいち早く対応した企業では、様々な素材のストローを開発・販売し、市場に参入しています。



## 2 企業とSDGs ②商品・サービスから見つめ直す

しかし、他素材への切替が必要と言っても、プラスチックストローを必要とする人がいることも忘れてはなりません。













それぞれの製品には、強みもあれば弱みもあります。だからこそ競争が生まれ、市場が活性化し、チャンスが生まれます。

自社の技術や素材の特徴などの強みを活かし、事業を通じて環境や社会の問題に取り組むことは、企業におけるSDGs推進の目指す姿ではないでしょうか。

## 2 企業とSDGs ②商品・サービスから見つめ直す

1つ、忘れないでいただきたいことですが、そもそも、プラスチックごみの問題は、製品をつくる会社が悪いわけではありません。一番の問題は、**ポイ捨てや不法投棄されてしまうこと**です。

私たち人間が作りだした人工物は、自然界には存在しないものであり、自然に無くなるわけではありません。作った責任も、使った責任も、全て人間が負わなければなりません。**一人ひとりが当事者意識を持ち、改善に取り組む**ことが、SDGsの達成につながります。

	ストロー製造会社	飲食店	消費者
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境・社会問題解決を意識したストローを開発・製造すること</li> <li>○正しい廃棄をすること、促すこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境に配慮されたストローを採用すること</li> <li>○正しい廃棄をすること、促すこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境に配慮されたストローを使用しているお店を選択すること</li> <li>○正しい廃棄をすること</li> </ul>
取組効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他企業との差別化、市場拡大</li> <li>○企業価値の向上</li> <li>○事業を通じたSDGs達成への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他企業との差別化、顧客の取込</li> <li>○企業価値の向上</li> <li>○事業を通じたSDGs達成への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○普段の行動を通じたSDGs達成への貢献</li> </ul>
主な関係目標	   	  	  

## 2 企業とSDGs ③既存の取組とSDGsを紐づける

最初から事業にSDGsを取り入れることはハードルが高く感じますが、「今やっていることとSDGsの関係性」を整理してみるのはいかがでしょうか。

既存の取組とSDGsの目標を紐づけすることで、自社におけるSDGsの強み・弱みを整理することができ、SDGsが身近なものに感じられます。

では、下記のような企業を例に、SDGsにおける強み・弱みを考えてみましょう。



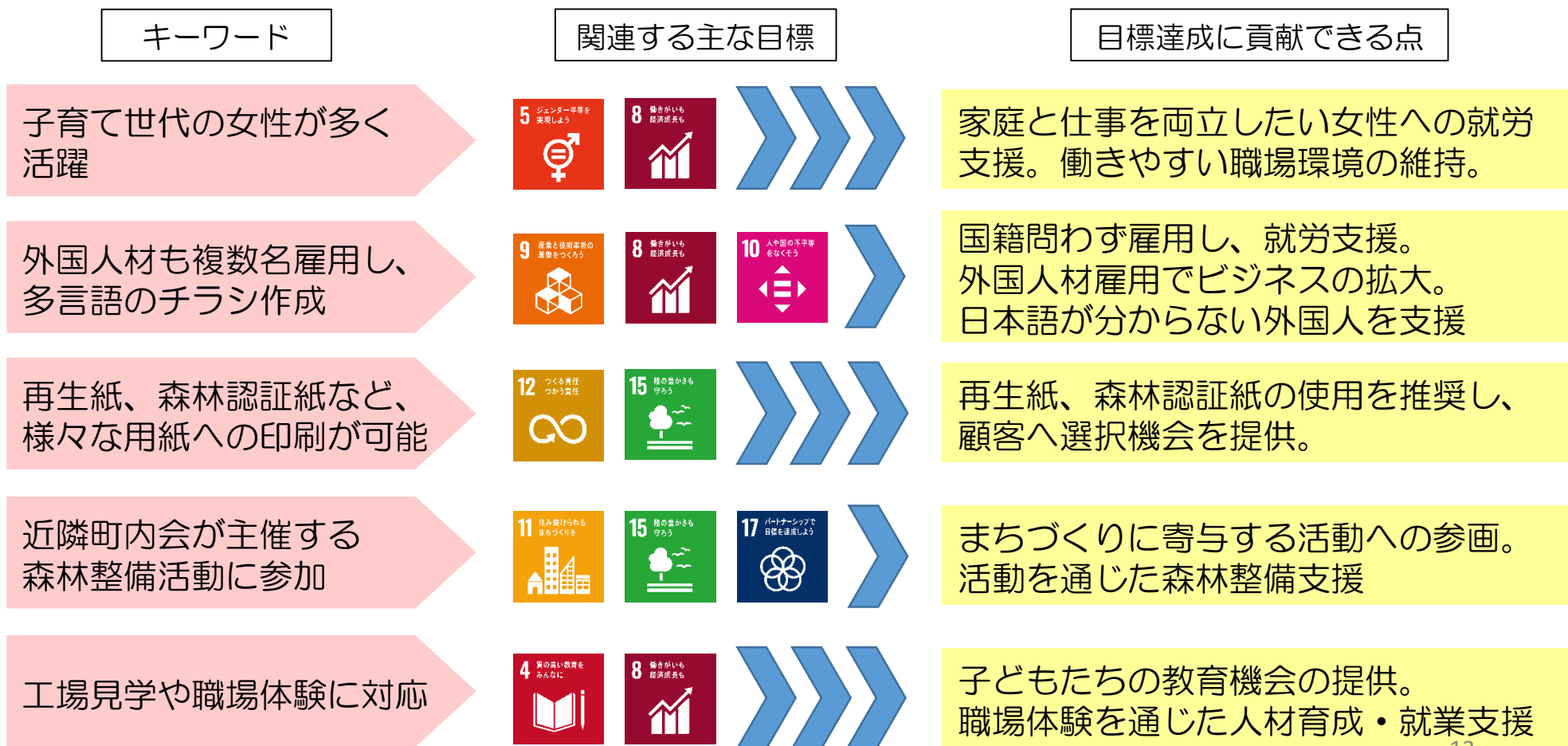
株式会社しぞーか印刷所

社長の静岡さん

- 子育て世代の女性が多く活躍し、女性だからこそそのきめ細かで丁寧な作業に好評をいただいています。
- 外国人材も複数名雇用し、多言語のチラシ作成にも対応しています。
- お客様の要望に合わせ、再生紙、森林認証紙など、様々な用紙への印刷が可能です。
- 急なご依頼も休み返上で対応させていただいています。
- 年に2回ほど、近隣町内会が主催する森林整備活動に参加しています。
- 近隣の学校の工場見学や職場体験に対応しています。

## 2 企業とSDGs ③既存の取組とSDGsを紐づける

皆さんはどんな風に紐づけできたでしょうか。例えば、下記のようにキーワードから関連しそうな目標と紐づけし、目標達成に貢献できる点を見つけてみると、既存の取組がSDGsに関連することに気づくことができます。



## 2 企業とSDGs ③既存の取組とSDGsを紐づける

しかし、社長の発言の中には「あれ？これって大丈夫かな？」と思ってしまうようなキーワードもありました。

キーワード

関連する主な目標

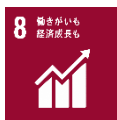
改善が必要な点

女性だからこそその  
きめ細かで丁寧な  
作業



「きめ細かで丁寧な作業」ができるのは「女性だから」でしょうか。女性でも苦手な方もいれば、男性で得意な方もいます。性別で決めつけないようにしましょう。

急なご依頼も休み返  
上で対応



従業員のワークライフバランスに配慮することは大切です。振替休日の取得や勤務体制の見直しなどを改善しましょう。

悪意のない発言や対応でも、男女差別や働きにくい職場というように受け取られてしまうことがあります。実際には、性別関係なく、働きぶりを評価して昇格したり、休日勤務が生じた月には振替休暇の取得必須とするなど、むしろSDGsの達成に貢献できる取組を既に実施しているのかもしれませんが。

持続可能な企業であり続けるためには、**SDGsの視点で見直しが必要な考え方や取組を見つけ出す**ことも大切です。

## 2 企業とSDGs ③既存の取組とSDGsを紐づける

紐づけを行う際のポイントとしては、SDGsの17の目標だけでなく、『ターゲット』と照らし合わせることです。P5で紹介しましたとおり、目標には169のターゲットと232の指標が設定されています。

例えば、企業として防災を意識した取組をしていたとします。

- 社内における防災訓練
- 工場の耐震強化
- 地域防災訓練への参加
- 備蓄食料等の用意
- 避難者の受け入れ
- 津波避難タワー設置 等

防災だけをキーワードに17の目標と照らし合わせてもどこに結び付くかピンとこないかと思いますが、ターゲットまで見てみると、下記のように目標11のターゲットに関連しそうなターゲットがあります。



目標11	住み続けられるまちづくりを
ターゲット 11.5	2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点を当てながら、 <b>水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に減らし、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。</b>

このように、**ターゲットまで深掘りしていくと紐づけがしやすく、取組と結びつく目標が見つけやすくなります。**

## 2 企業とSDGs ③既存の取組とSDGsを紐づける

また、1つの取組が複数の目標に関連していることも多くあります。  
例えば、企業として三保松原の海岸清掃に参加をしているとします。

きっと、多くの方は、「海岸清掃」=目標14だけを紐づけしてしまいがちですが、「三保松原」=「世界文化遺産構成遺産」であることから、実は目標11にも関連しています。



目標14	海の豊かさを守ろう
ターゲット 14.1	2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。



目標11	住み続けられるまちづくりを
ターゲット 11.4	世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。

このように、1つの取組が複数の目標・ターゲットに関連していることがあるので、目標を1つに絞らず、「他に関わりがあるのでは？」という視点で紐づけていきましょう。



## 2 企業とSDGs ④SDGsの見える化を図る

そして、企業におけるSDGsの取組を、まずは社内で共有することが大切です。紐づけした内容を社内掲示板で周知したり、朝礼やミーティングなどで共有したりと、「自分たちの仕事がどのようにSDGsに関わるのか」を知ることは、取組の強化と見直しに繋がります。

また、取組を自社ホームページやパンフレットで紹介し、「SDGsに取り組む企業」であることを発信することも大切です。

最近では、「就活の学生や取引先から『御社はどのようにSDGsに取り組んでいますか？』と問い合わせを受ける」という声が聞かれます。

SDGsの見える化は、未来志向の視野を持つ優秀な人材や取引先を確保し、企業の成長を後押しすることに繋がり、結果として「持続可能な企業」となるチャンスを秘めています。

取り組んで終わり、整理して終わりではなく、積極的に取り組みを発信していきましょう！



## 2 企業とSDGs ④SDGsの見える化を図る

静岡市では、皆さんの取組の見える化を支援する「SDGs宣言事業」を行っています。

市内企業・団体から、これまでの取組内容やこれからの取組目標を記載した『SDGs宣言書』を作成いただき、市ホームページで公開しています。

令和元年10月から事業を開始し、令和3年5月末時点で280を超える宣言書が提出されています。

ぜひ、SDGsの見える化の方法として、「SDGs宣言書」の作成・提出をご検討ください。

静岡市SDGs宣言書の詳しい内容は、  
静岡市ホームページにてご確認ください。



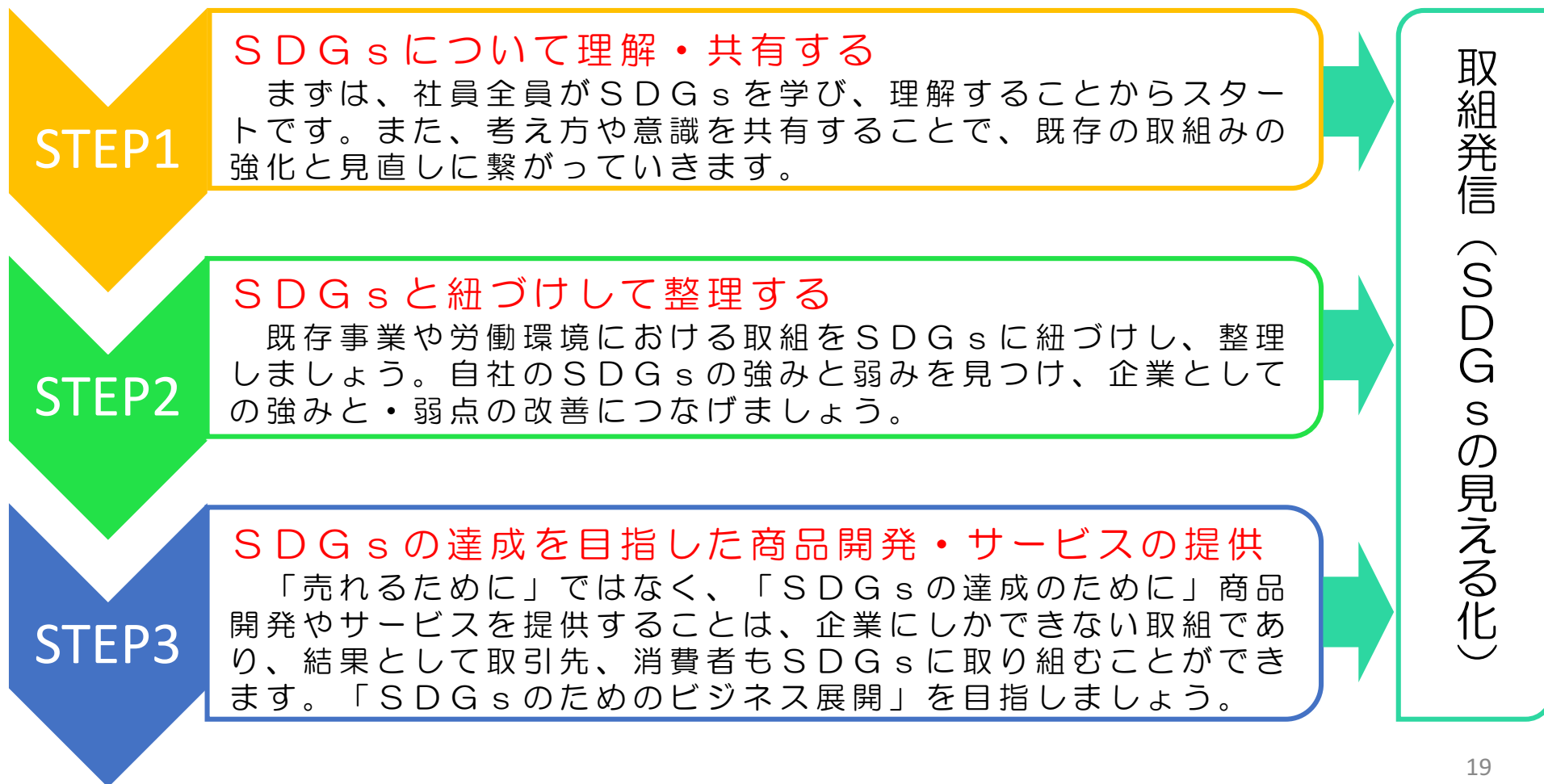
[https://www.city.shizuoka.lg.jp/750\\_000146.html](https://www.city.shizuoka.lg.jp/750_000146.html)

SDGs宣言書		記載
様式第1号（第5条関係） 私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取組むことを宣言します。		
＜宣言日・変更日＞		2021年4月1日
事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿		
企業の経済的価値の追求と社会的課題解決の両立を図り、持続可能な地域社会の発展に寄与する。		
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動		
毎年、地域貢献の一環として実施している夏祭りで、地域住民の方と協力し、清掃活動と海洋ごみ削減の啓発を行っている。		
目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	2021年12月31日までの取組目標
	社員研修の実施	SDGsに関する社員研修を実施（0回⇒1回）
	管理職における女性の積極的登用	女性管理職1名増（3人⇒4人） 男女の雇用数の均等化を目指す
	製造工程におけるCO2の削減	当年度比2%削減（1,000t⇒980t）
	社員へのマイボトル携行の推奨	マイボトル用給水機2台設置
その他		各部門の長からなるSDGs推進組織の設置
<small>（記載上の注意）</small> 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。 3 目標はなるべく定量的に記載してください。 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。		
事業所・団体等 又は関連事業者等 の名称	<input type="checkbox"/> 株式会社 本社が届け出る場合はその事業所の数 ⇒ 3事業所	
業 種	3. 製造業	
代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
	氏 名	静岡 太郎
所在地	〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号	
従業員 （構成員）数	250人	
事業所・団体 ホームページURL	<a href="https://www.shizuoka0000.co.jp">https://www.shizuoka0000.co.jp</a>	
市HPへのリンク可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> ホームページなし	
担 当 者	所 属	経営企画課
	氏 名	駿河 花子
	電話番号	054-999-0000
	FAX番号	054-999-0001
	Eメール	keieikaku@shizuoka0000.co.jp
暴力団関係者 でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 暴力団、暴力団員等及び暴力団員等と密接な関係を有するものではないことを誓約します。	
上記項目のうち、URLリンク可否、担当者、暴力団関係者でないことの誓約以外の項目は、原則として公開します。		

< SDGs宣言書 記載例 >

## 2 企業とSDGs ⑤段階を踏んでSDGsに取り組む

SDGsの取組方法に正解はありません。SDGsの達成のために、自らが考え、行動することが大切です。ぜひ、取組しやすいものから始めていき、SDGsの達成に向けて企業として取り組んでいきましょう。



### 3 最後に①

最近、SDGsのロゴ等の使用について、「商品の包装やチラシにSDGsのアイコンを使用したい」、「名刺に使用したい」というお問い合わせをいただきます。

しかしながら、SDGsのロゴ等は国連が作成し、使用の許可を行っているため、静岡市では、使用に関する許可・指導を行うことができません。

SDGsロゴ等を使用される場合は、「国際連合広報センター」のホームページに掲載されている『ロゴ使用のためのガイドライン（日本語訳）』を確認し、ガイドラインに沿った使用・対応をお願いします。



<国際連合広報センターURL>

[https://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/sdgs\\_logo/](https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/)



### 3 最後に②

また、「SDGsのバッジを購入したい」「SDGs宣言書を提出したらバッジがもらえますか」というお問い合わせも多くいただきます。

SDGsのバッジの正規品は以下からしか購入が出来ません。

- ① アメリカ・ニューヨークの国連本部での購入（直接購入）
- ② 国連のWebサイトからの購入
- ③ 「ロゴ使用のためのガイドライン」を遵守し、国連の使用許可を得て製造販売を行う企業からの購入

そのため、静岡市としてバッジの販売や配布は行っておりません。バッジの着用を希望される際には、①～③の中から購入をお願いします。

また、③に当てはまる企業のご紹介は行っておりませんので、インターネット販売等で購入される際には、国連の使用許可を得て販売している商品であるか、各自でご確認をお願いします。

